



あいことば 上宇部 2025

～ 「あい」「ことば」を大切にする学校 ～

09.10 NO-36

代表委員会

上宇部小学校には、児童による自治組織である代表委員会があり、定期的に学校生活に関係することについて意見交換を行っています。

【代表委員会の構成メンバー】

○運営委員(6年生) 10名

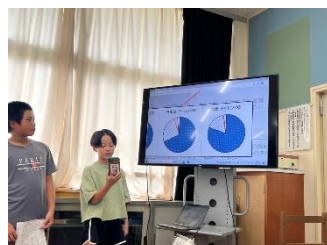
○各委員会(集会、給食、図書、環境、放送、音楽、保健、飼育、体育、掲示)の
委員長 1名×10委員会= 10名

○4、5、6年生の各学級の代表2名ずつ
2名×9クラス= 18名

合計38名で構成されています。

～ 今回の代表委員会は…… ～

7月に実施した学校評価アンケートの結果に注目し、話し合いを行いました。中でも、児童の自己評価が他の項目に比べて低かった項目について、意見交換を行いました(下写真)。



運営委員がアンケート結果を説明します。



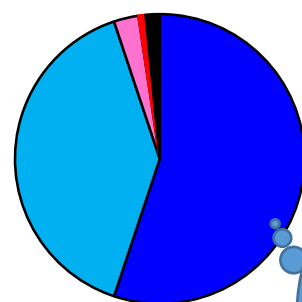
運営委員が各学級の代表にアドバイス



学級代表が自分の学級の実情を考えながら課題解決において意見交換

学校評価アンケート結果

あなたは、あい手の考えを聞き合っていますか？



- そう思う
- だいたいそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない
- わからない

肯定的な割合は高かったが、他の項目に比べて低かった。

「相手の考えを聞き合おう」という項目では、「できている」と答えた児童の割合は95%と高かったものの、その中でも「積極的にできている(=『そう思う』と回答)」とした児童の割合は、他の項目より10ポイント以上低い傾向が見られました。

話し合いでは、「どんな姿が『相手の考えを聞いている姿』なのか?」について、具体的な場面を紹介し合いながら、めざす姿のイメージを共有しました。今回の委員会で考えられた「相手の考えを聞くことができる具体的な姿」は、「姿勢よく、相手を見ながら、黙って聞いて、反応しよう!!」というものでした。

一所懸命に意見交換をする子どもたちの姿も印象的でしたが、学校評価アンケートに注目し、そこから自分たちの課題を見出そうとした代表委員会の取組は、まさに児童が学校運営に参画する姿のひとつの形だと感じました。